

倉吉東高新聞

第117号

9月26日発行
倉吉東高新聞部

2019インターハイ 夏に輝く倉東生!!

今夏に九州・沖縄でインターハイが行われ、本校の生徒も多数出場した。陸上部女子の有本吏里さん、ソフトボール部の池口諒さんを取材した。

走幅跳で決勝

女子陸上部
有本吏里さん(3年5組)

小学校から走幅跳を始めた有本さん。陸上部員は「友達というより家族」と語る。後輩が手紙やお守りをくれたことがうれしかった。

インターハイ前日から緊張していたが、当日は楽しみが勝っていたそう。本番は、今も教えてもらっている中学校の先生や遠くの大会でも応援に来てくれる家族に恩返しをしようと臨んだ。

決勝ではベストが出せなかったがまた国体でリベンジしたいと意気込んだ。

全国大会出場
男子ソフトボール部
池口諒さん(3年1組)

高校からソフトボールを始めた池口さん。ソフトボールの魅力はボールのスピードや一つひとつのプレーのすばやさと言



男子ソフトボール部のメンバーとマネージャー

インターハイまでは普段どおり勝つことを目標に常に試合を意識して練習に励んだ。本番は皆楽しそうで緊張はしていなかったそう。「インターハイでは相手は強かったけど全力で戦えました」と試合を振り返った。

後輩達にはお互いに競い合い力を伸ばし合えるチームにしてほしいと微笑んだ。(小椋 桑村)

結果は以下の通り

- ソフトボール(男子)
倉吉東 0-3 刈谷工
- 卓球(女子)
シングルス 石田瑛歩
1回戦
- 倉吉東 3-0 福井高
2回戦
- 倉吉東 1-3 日南学園
シングルス(女子)
1回戦
- 倉吉東 0-6 松商学園
ダブルス
橋本空瑠美・濱家早都
1回戦
- 倉吉東 2-6 富山国大付
アーチェリー(男子)
宮川陸 予選98位
- 自転車
林原聖真 ロード
決勝14位



笑顔を見せる陸上部女子の3人
左から加河さん、有本さん、河本さん

●陸上(女子)	有本吏里	走幅跳	予選組7位
加河鈴菜	5m 85	決勝	15位
河本美祐	5m 70	決勝	15位
予選組5位	12秒42	100m H	予選組4位
予選組4位	15秒06	予選組4位	

ベスト4仲間と全力野球

第101回全国高等学校野球選手権鳥取大会が開催された。本校野球部は大会第9日目の7月26日に準決勝で米子東高校と対戦した。強豪相手に粘り強い試合を展開したが、1対6で敗れた。前主将の伊藤颯沙さん(3年4組)を取材した。



円陣で気合いを入れる選手たち

チームで力を入れたことは確認することだそう。練習の意図の確認、プレーに入る前の確認などを特に意識することで、練習の質の向上や、プレー

夏大会を終えて

校長先生をはじめとする先生方、そして応援団、チア部、オーケストラ部をはじめとする生徒のみなさん、野球部への応援をありがとうございました。グラウンドから見える倉東のスタンドはとても心強く、自分たちの力になりました。

夏の大会では自分たちがこれまでやってきたことの成果が出た部分も多くありましたが、実力が足らず目標としていた甲子園には届きませんでした。ですが、たくさんの人に応援してもらいながら大好きな野球をすることができてとても幸せでした。

前主将 伊藤颯沙

かなくて悩んだこともあったが、いろんな人に支えられて、全力で野球に打ち込めたそう。甲子園で勝つという目標を達成できなかった悔しさは今も残っているが、この悔しさを忘れず自分の力

未来をLet's imagine!
2日間の東大研修ツアー
東京大学本郷キャンパスで8月7日、8日の2日間にわたって東京大学オープンキャンパスが開催された。本校から17名の生徒が講義や研究室ツアーなどに参加した。



東大のシンボル赤門の前でピース

本校の生徒が勉強方法や生活習慣、大学生活などについて質問し、アドバイスを体験談を聞いた。東大には誇りをもって学んでいる人が多く、充実したキャンパスライフを想像できた。

また、大学の総合図書館では私たちが教科書で見る解体新書や万葉集などの実物が展示されていた。ここには様々な言語で書かれた辞典からヨールトに関する事典まで多岐にわたる参考資料も充実していた。

夜には東大に進学した倉吉東高OBとの座談会を行った。ここでは

(伊藤)